

令和 7 年度「国立国会図書館国際子ども図書館児童文学連続講座」開催要項

児童サービスに従事する全国の各種図書館員等、児童書及び児童文学に関する知識を必要としている方の、幅広い知識の修得を目的として、児童文学連続講座を開催します。

1 総合テーマ

「物語の伝え方—児童文学基礎講座—」

2 形式

Microsoft Teams を用いて、講義をオンライン同時配信します。また、グループディスカッションを除く講義を録画した映像を後日配信します。

利用する PC、インターネット環境は、受講者が各自でご用意ください。また、Microsoft Teams の実行環境についても各自でご確認ください。**サービス利用に当たってのサポート等の個別対応は致しかねます。**ご了承ください。

3 開催日程

令和 7 年 10 月 27 日（月）、28 日（火）

※録画映像の配信日程や申込みについては、後日、当館ホームページでご案内いたします。

4 内容及び講師

別紙のとおり。なお、講座内容は都合により変更になることがあります。

開催前日までに、レジユメを当館ホームページに掲載します。

5 参加費

無料

6 定員

400 名程度。ただし、オンラインによるグループディスカッションのみ定員 50 名（いずれも先着順）。

7 申込受付期間

令和 7 年 8 月 26 日（火）～10 月 7 日（火）

ただし、定員に達し次第、受付を終了する予定です。

8 申込方法

1 講義単位での受講が可能です。以下のフォームからお申し込みください。

[申込みフォーム](#)

問い合わせ先

〒110-0007 東京都台東区上野公園 12-49

国立国会図書館国際子ども図書館企画協力課協力係

TEL：03-3827-2053（開館日の 9:30 から 17:00 まで）

電子メール：kenshu★kodomo.go.jp（★を半角の@にしてください）

総合テーマ「物語の伝え方—児童文学基礎講座—」

児童文学、詩、昔話、絵本など、子どもに物語を伝える表現形式は実に多様です。それぞれの形式には独自の魅力があり、子どもたちの心に深く響く力を持っています。今年度は、「物語の伝え方—児童文学基礎講座—」と題して、こうした多様な表現方法に焦点を当てながら、児童書や児童サービスに携わるみなさまに必要となる基本的な知識を学んでいきます。

まず総論として、文字によって綴られた物語の特長を考察します。各論では、詩を子どもとともに楽しむ方法や、昔話を持つ魅力、さらに絵本における表現技法について、具体的な例を交えながらご紹介します。また、国際子ども図書館の所蔵資料の検索方法についてもご説明します。さらに、昨年度に引き続き、参加者のみなさんにオンラインでグループディスカッションをしていただく科目も設けました。

この講座をとおして、どのように子どもたちへ物語を手渡していくことができるのか、みなさんと考えていきたいと思っています。

監修 今田 由香（日本女子大学准教授、国立国会図書館客員調査員）

令和 7 年 10 月 27 日（月）

10:00～11:30

「児童文学概論—文字で書かれた物語の力—」

横川 寿美子（元帝塚山学院大学教授）

……今日、子どもに物語を届ける手段としては、マンガやアニメーションなど、さまざまなメディアが存在します。そういう中で、文字で本を書く、という昔ながらの方法はどういう意味を持っているのでしょうか。古典作品、現代作品の両方を取り上げながら、文字だからこそ届けられる物語の特長について考えます。

13:00～14:30

「『詩』とは何か、どう手渡すか—日本の子どもの文学における「詩的なもの」について—」

宮川 健郎（大阪国際児童文学振興財団理事、武蔵野大学名誉教授）

……どんなふうにして、詩を子どもたちといっしょに楽しむか、具体的にご提案したいと思います。また、日本の子どもの文学は、詩的で象徴的な「童話」から、もっと散文的な「現代児童文学」へと転換したと考えられます。この文学史を確認しながら、童話という「詩的なもの」のもつ可能性についても考えます。

15:00～15:40

「国立国会図書館サーチで国内刊行の児童書を探す」

国際子ども図書館職員

……国立国会図書館が納本制度で収集した国内出版物のうち、おおむね 18 歳以下向けの図書や雑誌は原則として国際子ども図書館で所蔵しています。それらを国立国会図書館サーチで検索する方法をご紹介します。国立国会図書館サーチでは、国立国会図書館や、国立国会図書館とデータ連携している全国の図書館の所蔵資料を検索できます。

別紙

令和7年10月28日（火）

10:00～11:30

「語り継がれる昔話、その魅力」

久保 華誉（学習院大学、武蔵野大学非常勤講師）

……空前の大ヒットを収めた漫画、アニメの『鬼滅の刃』には昔話のモチーフがふんだんに見られます。また少し時間をさかのぼり、明治期の道德教育に利用されたグリム童話や、巖谷小波による昔話の翻案を通して、昔話の特性を読み解いてゆきます。現代でも愛される、耳で聴く文芸としての昔話の魅力をご紹介しますと思います。

13:00～14:30

「絵本とはどのようなメディアなのか ―語りの技法を知る―」

今田 由香（日本女子大学准教授、国立国会図書館客員調査員）

……絵本とはどのようなメディアでしょうか。どのように物語が語られてきたのでしょうか。本講義では、物語るメディアとしての絵本に注目します。色、構図、余白、判型、構成、素材などを物語表現に用いた作品を紹介しながら、絵本における語りの技法の多様性を確認するとともに、絵本の読書がもたらす体験についても考えます。

15:00～16:30

「グループディスカッション―子どもに本を手渡すとき考えていること」

今田 由香（日本女子大学准教授、国立国会図書館客員調査員）※モデレーター

……ふだんから本や子どもと関わっているみなさんと、子どもへの本の手渡し方について語りあってみませんか。オンラインだからこそ、遠く離れた地域の方とも気軽につながり、交流することができます。

※この科目では、少人数のグループに分かれてディスカッションを行います。ディスカッション中はマイクとカメラをオンにさせていただきますので、ご了承の上お申し込みください。

別紙

講師略歴（五十音順）

今田 由香（いまだ ゆか）

日本女子大学家政学部准教授。明治学院大学文学部芸術学科卒業、日本女子大学大学院家政学研究科児童学専攻修士課程修了、博士（学術）。日本女子大学家政学部児童学科助教、浦和大学こども学部こども学科講師、同大学准教授、京都女子大学准教授を経て現職。絵本学会理事、企画委員長を歴任し、現在は日本児童文学学会理事。研究領域は絵本学。令和 4 年度児童文学連続講座「絵本の現在—普遍性と現代性を考える」講師。令和 7 年度から国立国会図書館客員調査員。

著書『トミ・ウンゲラーと絵本：その人生と作品』（玉川大学出版部，2018）

『絵本ものがたり FIND — 見つける・つむぐ・変化させる —（シリーズ〈絵本をめぐる活動〉2）』（共編著，ミネルヴァ書房，2016）等

論文「ショーン・タンのお話絵本における「欠如の表現」に関する考察」（『日本女子大学大学院紀要・家政学研究科・人間生活学研究科』30，2024）

「The Three Robbers の表現様式」（『絵本学：絵本学会研究紀要』15，2013）「大人を導く子どもの登場—T.ウンゲラーのニューヨーク時代の絵本を読む—」（『絵本学：絵本学会研究紀要』13，2011）等

久保 華誉（くぼ かよ）

学習院大学非常勤講師、武蔵野大学非常勤講師。聖心女子大学文学部歴史社会学科卒業、國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期修了、博士（文学）。國學院大學、立教女学院短期大学、東京女子大学等非常勤講師を経て現職。平成 17 年 3 月から平成 21 年 9 月まで国際子ども図書館非常勤調査員（学芸員）。専門は伝承文学、日本における外国昔話の受容。日本昔話学会副代表委員、日本口承文芸学会理事、日本民話の会、日本野鳥の会会員。

著書『なぜ炭治郎は鬼の死を悼むのか：昔話で読み解く『鬼滅の刃』の謎』（草思社，2023）

『芸術教養シリーズ 23 暮らしに息づく伝承文化 伝統を読みなおす 2』（共著，幻冬舎，2014）

『日本における外国昔話の受容と変容：和製グリムの世界』（三弥井書店，2009）等

そのほか『怪談オウマガドキ学園』（童心社）シリーズで説話を再話、分担執筆

宮川 健郎（みやかわ たけお）

大阪国際児童文学振興財団理事、武蔵野大学名誉教授。立教大学文学部日本文学科卒業、同大学院文学研究科日本文学専攻博士課程前期修了。宮城教育大学専任講師、同大学助教授、明星大学教授、武蔵野大学教授を経て令和元年武蔵野大学名誉教授。平成 27 年から令和 7 年まで大阪国際児童文学振興財団理事長。専門は日本児童文学。平成 20 年 4 月から平成 24 年 3 月まで国立国会図書館客員調査員として児童文学連続講座の監修及び講師を務めた。展示会「日本の子どもの文学」（平成 23 年 2 月～平成 27 年 10 月）監修者。

著書『戦争がわたしたちを見つめている 戦争文学セレクション』全 3 巻（編著，汐文社，2025）

『日本の文学者 18 人の肖像：現代作家編』（編著，あすなろ書房，2022）

『遊びは勉強友だちは先生：「ズッコケ三人組」の作家・那須正幹大研究』（共編著，ポプラ社，2022）

『近代童話作家資料選集』（編著，クレス出版，2015）等

論文「子午線 あまんきみこ研究の現状と課題」（『日本文学』69(5)，2020）

「児童文学研究とは何をするのか（特集 文学部・夏の祭典 2021）」（『武蔵野大学武蔵野文学館紀要』12，2022）

「子どもの時間、児童文学の時間：成長物語と遍歴物語、童話と現代児童文学（特集 子どもと時間）」（『子ども学』/白梅学園大学・白梅学園短期大学子ども学研究所 10，2022）等

別紙

横川 寿美子（よこかわ すみこ）

京都大学文学部卒業、京都女子大学大学院家政学研究科修士課程修了。大阪国際児童文学館専門員、美作女子大学教授などを経て、帝塚山学院大学教授。平成 29 年に同大学退職。研究分野は英米児童文学、児童文学におけるジェンダー、動物物語など。平成 26 年度児童文学連続講座『『若草物語』の三つの映画化—あなたはどのジョーが一番好きですか?』講師。

著書 『「赤毛のアン」の挑戦』（宝島社，1994）

『映画になった児童文学』（共著，玉川大学出版部，2015）等

論文 「日本の「ねむり姫」絵本に見る再話・翻案をめぐって:グリム版の場合」（『帝塚山学院大学研究論集 リベラルアーツ学部』48，2013）等